



Q 移住のきっかけは？

祖父の代から、大間々の商店街で魚屋を営んでおり、小さい時から地元で自分で商売をすることが当たり前という意識がありました。都会への憧れもありましたが、子育てや老後のことを考えると地元で暮らしたいという想いがあり、結婚を機にみどり市にUターンしました。

Q どのようなお仕事や活動をしていますか？

家業の飲食店を営みながら、地元の商工会やPTAなどの団体で、地域の発展に繋がる活動を行っています。コロナを機に自分の商いが上手く回らなくなった時、周りの人たちが力になってくれた経験から、自分も地域のために活動したいと強く思うようになりました。

妻はスポーツジムなどでヨガを教えています。その他、マルシェを開催したり、地元の商店を応援する活動も行っています。自分が地域に関わろうと思ったら心を開けば、地域は温かく見守ってくれたり、関わってくれと実感しています。



Q 移住前と移住後で変わったことは？

移住前は、都内で2DKのアパート暮らしでした。今は庭付き2階建ての一軒家に住み、のびのび暮らしています。周りにも子供たちが走り回れる場所がたくさんあります。物価も安く、ご近所の方から、新鮮な野菜などを頂くこともあります。

移住した頃の私たち、特に妻は「みどり市には何もない」「実家の家族や友達にもなかなか会えない」という気持ちで、休日はみどり市以外に出掛ける日々を過ごしていました。しかし、マルシェや仕事、子育てを通じてその不安感も徐々になくなり、今では年代の違う友人も多く出来るようになりました。

Q みどり市に移住して良かったことは？

子育ての面では、みどり市は待機児童がゼロで、スムーズに保育園に入園できました。入園前も子育て支援センターを利用していましたが、子育てのサポートをしてくれたり、ママ友を作りやすい体制があると思います。

小学生からは、お祭りのお囃子に参加したり、かるた大会など地域のイベントに関わる機会があるので、学校以外の場所でも地域の子供たちの団結力が強まるように感じます。

ここはチョット不便！

電車の終電の時間が早いため、お酒を飲んだ後の代行利用など、交通の不便さはあります。

商売をやっていることもあります。知り合いが多いこともあって、プライベートな情報の広がりやすさには戸惑うこともあります。

今後やってみたいこと

趣味の三線をイベントや老人ホームなどで演奏したいです。商工会の仲間と一緒に商売をすることにも興味があります。

妻は大間々という魅力的な場所をもっとたくさんの人に知ってもらい、商店街が盛り上がり、平日でもたくさんの人が歩いている光景を見るのが今の夢です。

Message ～みどり市へ移住を考えている方へ～



人口減少で商店が閉店したり、人手不足などの課題があるものの、自分たちの世代がまちを盛り上げようと少しずつ活動を行っています。都会へのアクセスや、日光など周辺観光の拠点としても、ほど良い場所に位置しています。人間関係を構築し、それを活かしてのびのび暮らしていくには大変良いまちです。自ら心を開けば、とにかく人が温かく、かつ親切なので移住者も歓迎してくれます。受け継がれている伝統的なイベントや若い人たちが開催するイベントもあり、気軽な気持ちで参加することが出来ますし、自ら始めることも可能です。子どもたちも学校の勉強だけでない学びが出来ます。みどり市で、一緒に楽しいことをしましょう！お待ちしております！